



洞窟を根城にしている
淫魔を駆逐するため
レイスヴァイン王立
騎士団は隊を派遣した

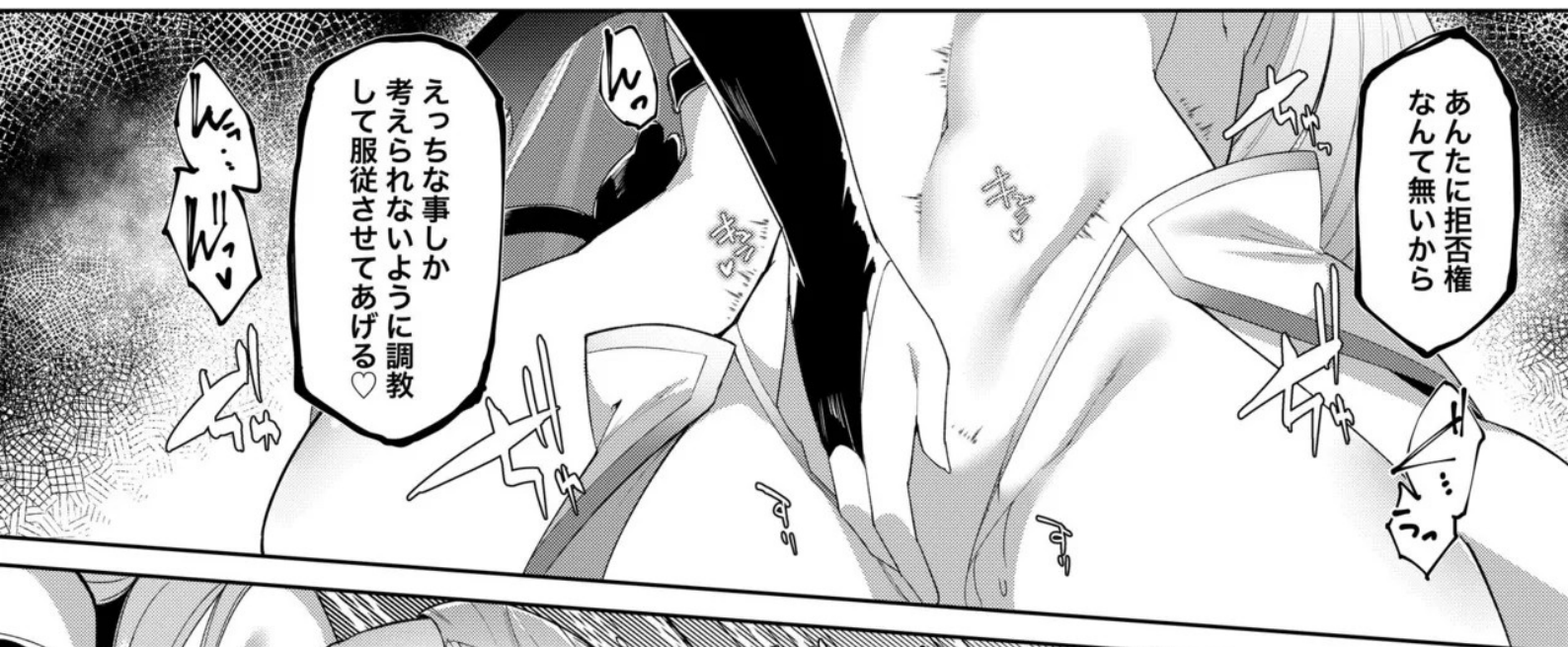
討伐隊を率いる
姫騎士アリシアは
淫魔の巣に突入したが―

皆…どうして…

ふふふ♡
皆同士撃ちで
死んじゃったわねえ♡





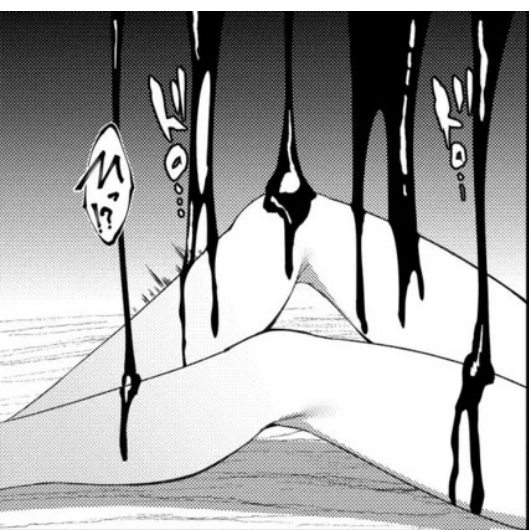






なに…これ…

気持ち良すぎるぅ…！



なにに…いまの…



ぶ、ブーツ…？



じっくり熟成させてその
綺麗な脚を立派な脚トリス
にしてあげる♡



調教はまだ
始まったばかりよ



足が…

足が疼く…っ！

こんな緩い刺激じゃ
イケない…

もっと触ってよ…ッ！





も、もうイかせて！
頭、おかしくなるからあ……！

んー

言葉がなっていないわね



イかせてくださいでしょう？



えらいわ

よく言えたわね♡

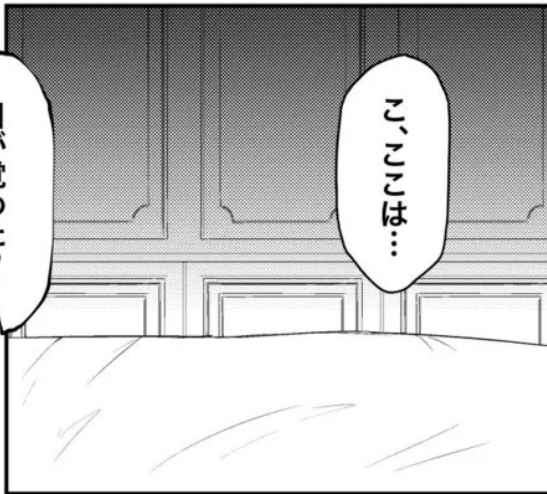
イかせてっ
イせてくださいっ
お願いしますう！

…っ





目が覚めた？



ふふふは…



か、体が…っ
動かない…!?



命令よ

『ベッドから出ないで』ね



は、はい…



快楽に屈服するのも
時間の問題かしら？

さあ私に奉仕なさい？

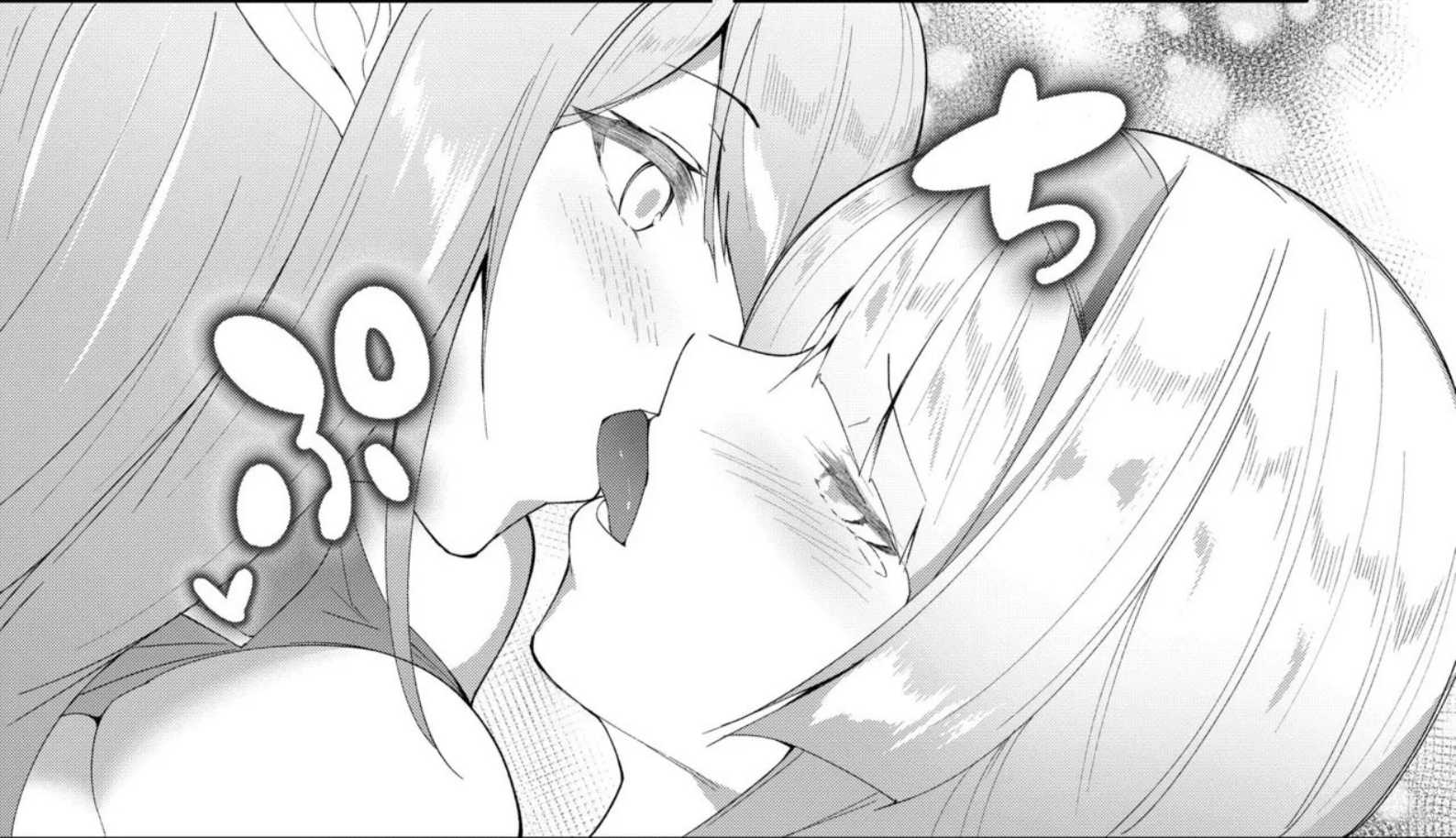


ふふふ♡

貴女の肉体はもう
完全に私の支配下♡



精神的な抵抗力が
弱まっているわね





もっとおマンコ広げて
見せて欲しいわぁ

い、嫌っ
体が勝手に

そのまま
オナニーしてみて

ううう...!
こいつの言葉に
逆らえないッ

あゝあゝあゝ



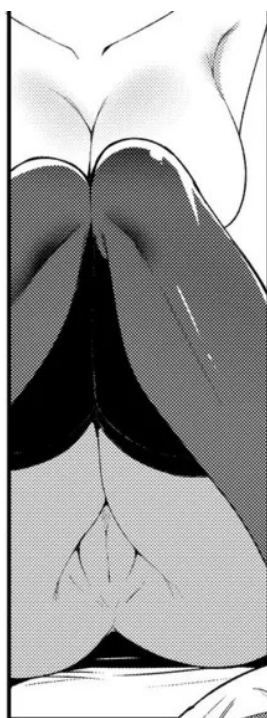






脇マンコを刻まれてから…

どれくらい経っただろう



それならいっそ…
ユリアに屈したほうが…

少しの刺激で気持ちよくなってしまう…

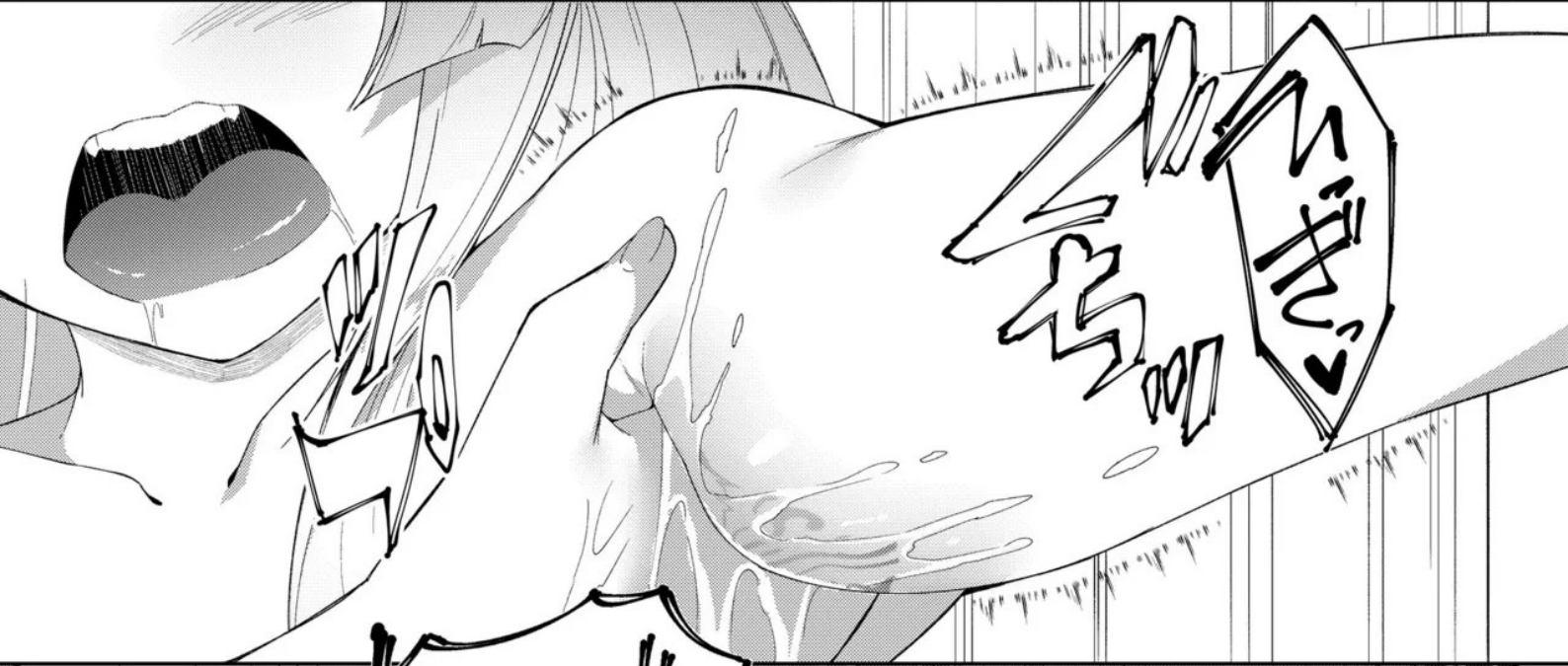


彼女の許可がなければ
このベッドから降りる
こともできない



何を考えているんだ
私は…!!

弱気になるな
アリシア!





うわーっ





じゅわん...

ぽん...

ぽん...

すっかり熟成
しわたね♡

むん

ふん

むん

こうなった足は...
クリトリスみたいに
気持ちいいはずよ♡





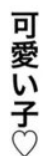


ふふ♡いいわあ…♡

もっともっと気持ちよく
なっちゃいなさい♡









あ と が き

お買い上げありがとうございます！ 作者のエルトリアです。

今回は久しぶりに私の書下ろしストーリーの姫騎士アリシア新作でした。

私が個人的なファンでいつも作品を拝読させて頂いている蘭田夢先生と一緒に作品をつくる機会を頂けたので、私なりに蘭田夢先生の得意分野を活かせるストーリーを考えて今回のフェチもの特化な物語になりました。

蘭田夢先生が描く女の子同士の絡みや足裏や脇などなど大変魅力的になっていますので、

本作を気に入って頂けた方は是非是非、他の作品も見てみてください！

そういえば前回からナイトアーマーのアリシアを登場させていますが、

実はこれパラレルワールドの基準になっています。

アリシアが鎧を着ている世界はあまり平和じゃない世界、

通常衣装の場合は比較的平和な世界というその世界線の安全度の指標になっていたりします。

アリシアを始めとした聖華快樂書店から出ているファンタジー作品は

世界観を共有しているので、機会があれば支援サイトで世界観設定を語りたいですね。

実は結構色んな設定だったりキャラクターが別作品に登場しています。

また折をみてその辺も共有したいですね。

ではでは、また次回作でお会いしましょう！

エルトリア

「姫騎士アリシアの受難⑮」

発行日：2025年1月25日

発行者：エルトリア

印刷所：西村謄写堂

連絡先：<https://ci-en.dlsite.com/creator/10273>

聖華快樂書店の各種リンクはこちら



無断転載、複写、複製、配布などの行為を固く禁じます。

Unauthorized reproduction prohibited

前面



背面



※尻尾は茎+花びらのように
枝分かれています。
(アロエのようなイメージ)

恍惚/興奮



魔眼発動時/優位



挑発/嘲笑



怒り



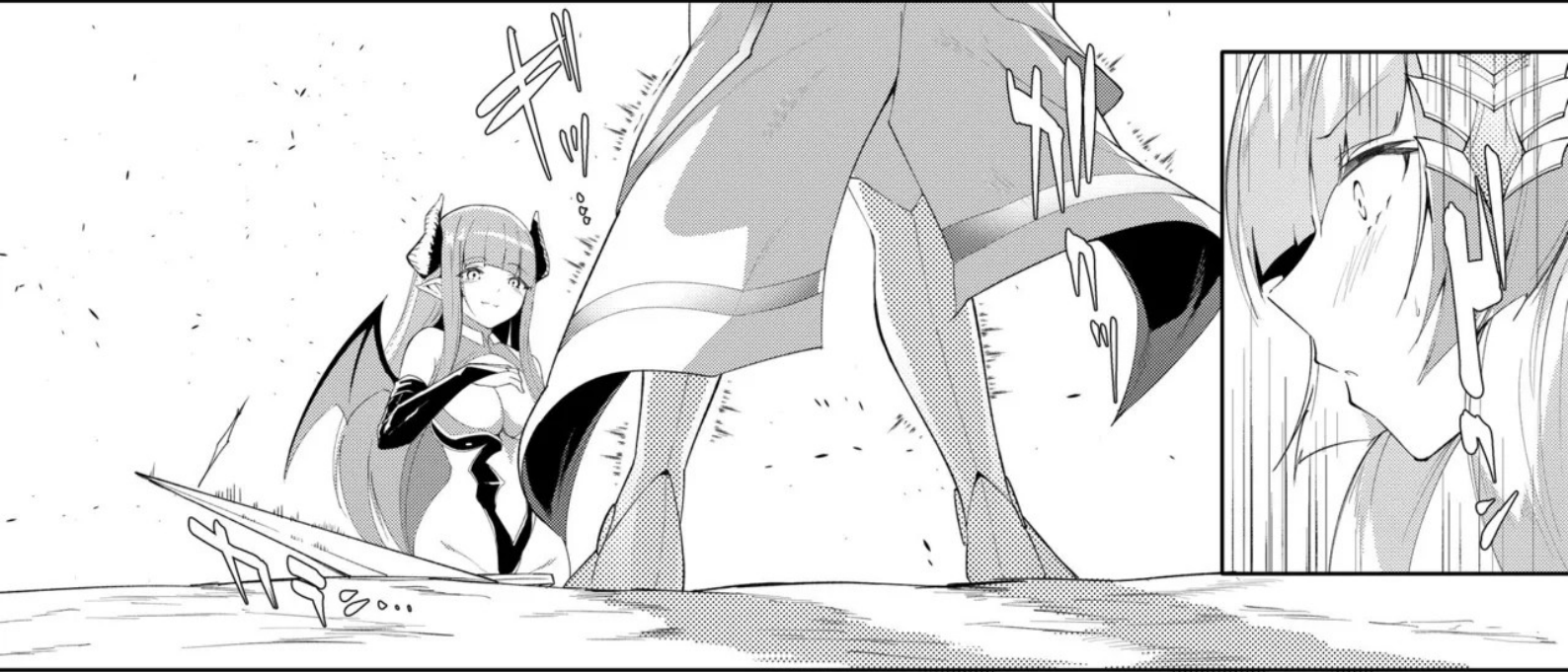
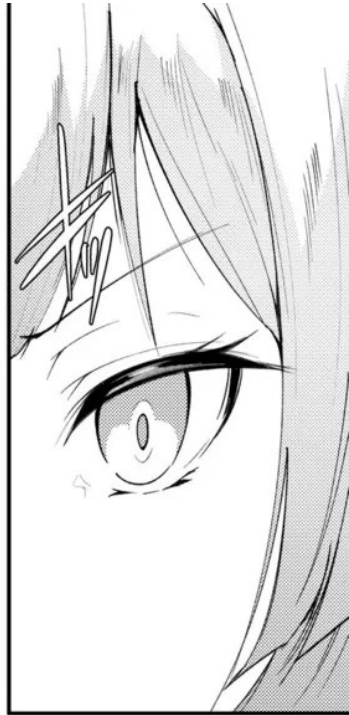
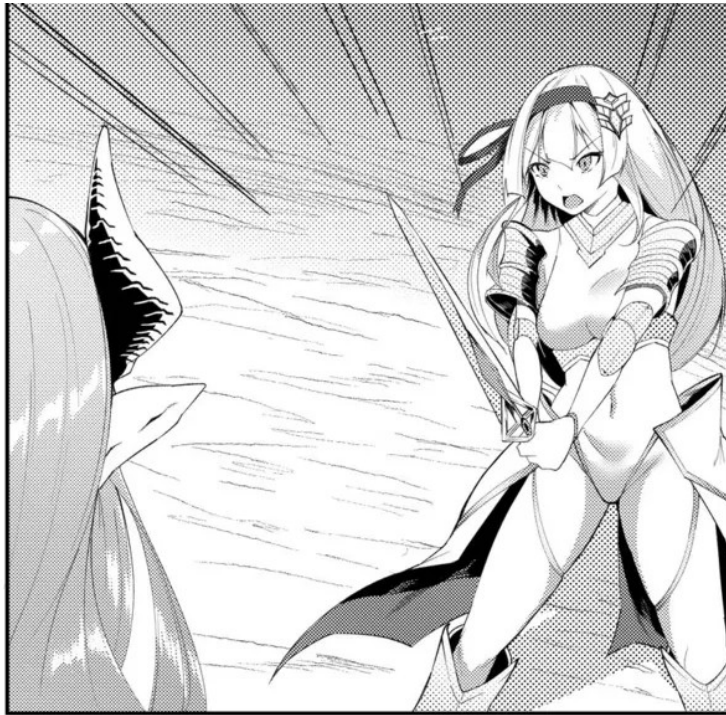
笑顔



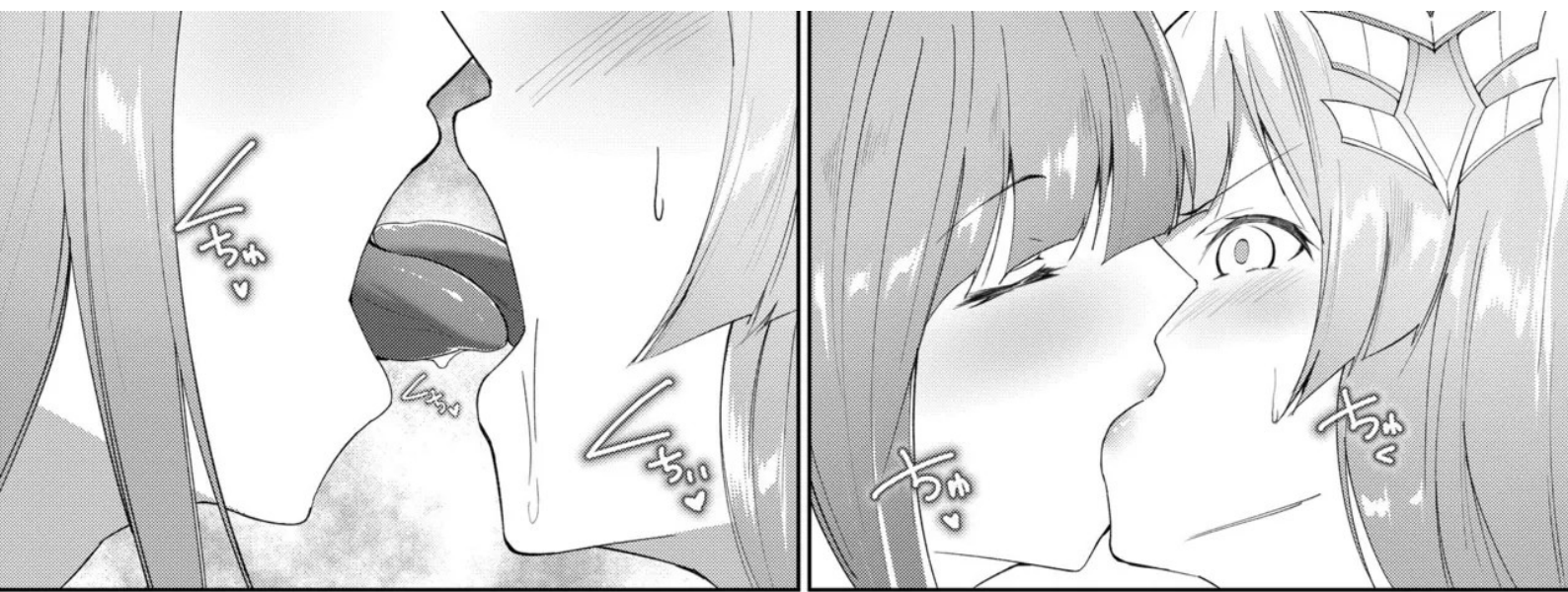


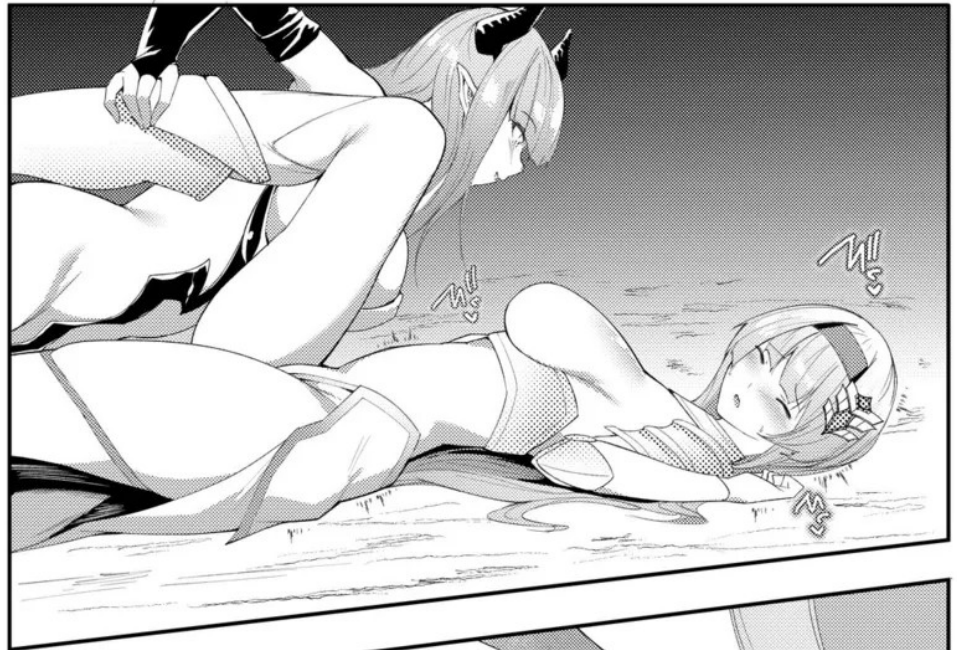




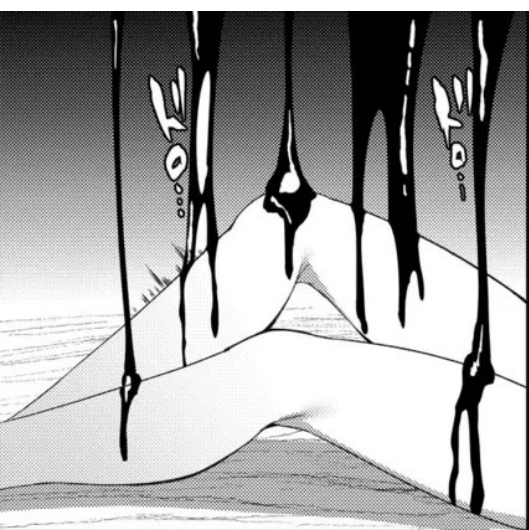






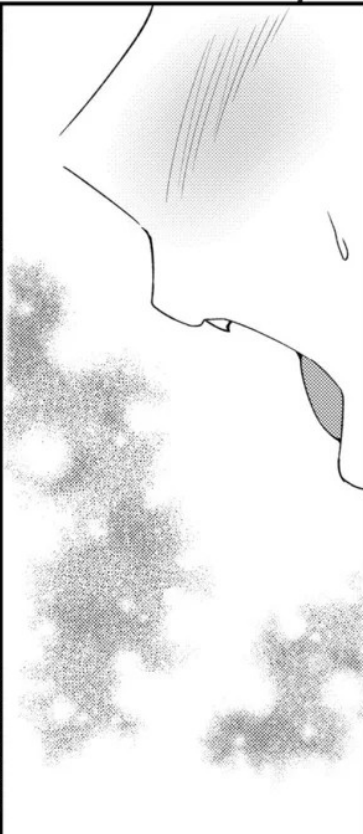






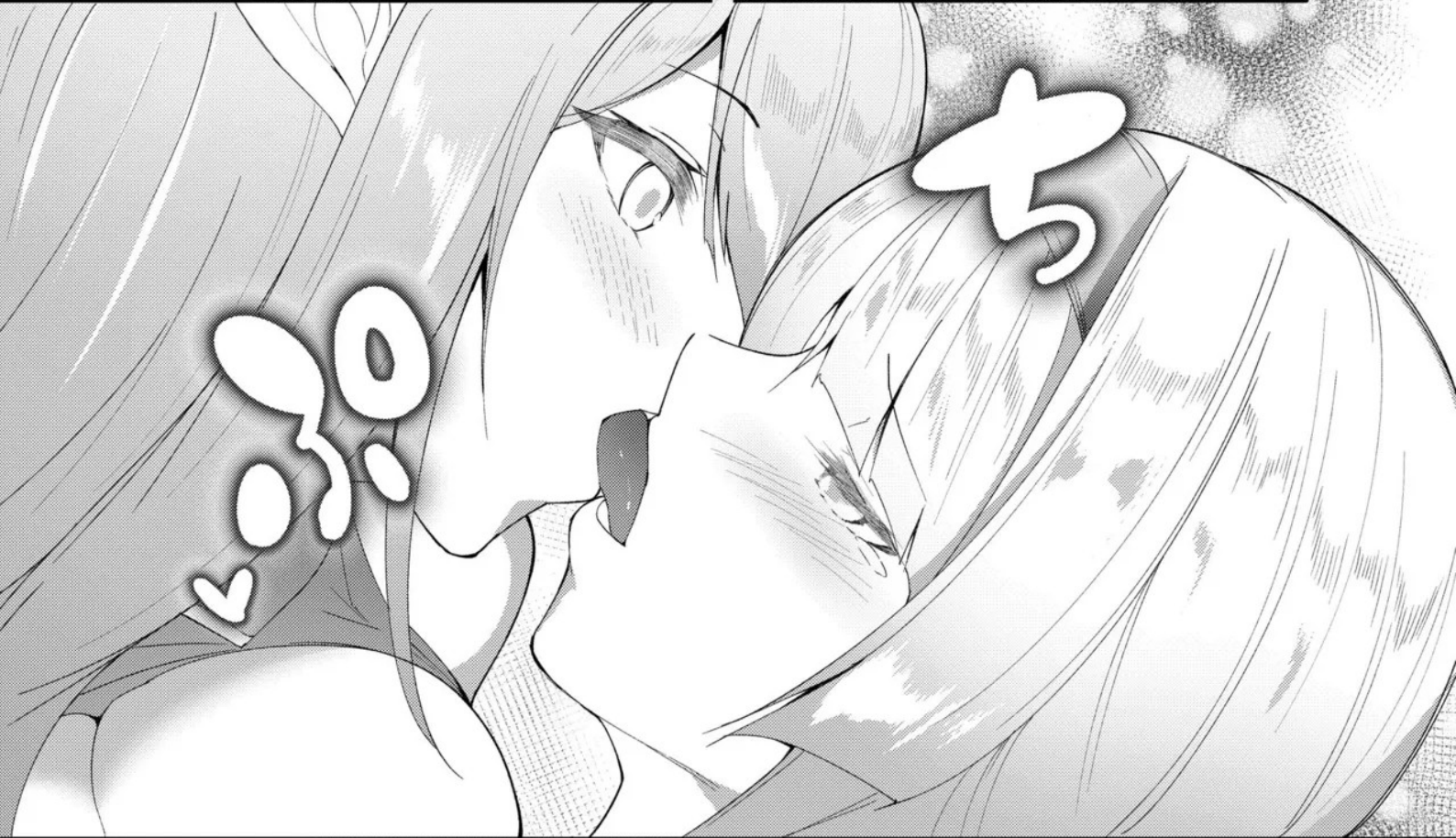














ほっ...

ほっ...♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ

ほっ

ほっ♡

ほっ♡





